

〈解答〉

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|-------|---|--------|---|--------|---|----|---|----|---|---|---|---|
| 1 | ア | 2 | イ | 3 | エ | 4 | ウ | 5 | エ | 6 | イ | 7 | ア | 8 | ウ |
| ① | 接続 | ② | 主 | ③ | 修飾 | ④ | 述 | ⑤ | 独立 | ⑥ | 主 | | | | |
| ⑦ | 述 | ⑧ | 主 | ⑨ | 修飾 | ⑩ | 修飾 | ⑪ | 述 | ⑫ | 修飾 | | | | |
| ⑬ | 修飾 | ⑭ | 修飾 | ⑮ | 述 | ⑯ | 主 | ⑰ | 修飾 | ⑱ | 述 | | | | |
| A | 修飾・被修飾 | B | 並立 | C | 主語・述語 | D | 修飾・被修飾 | | | | | | | | |
| E | 補助 | F | 主語・述語 | G | 修飾・被修飾 | H | 修飾・被修飾 | | | | | | | | |
| I | 修飾・被修飾 | | | | | | | | | | | | | | |

配点 各1点 40点満点

〈解説〉

- 1 並立の関係にある文節はそれぞれ交換が可能である。「騒音や／振動に」(4)「おいし
 そうで／小さい」(8) 補助の関係にある文節は助詞の「は」が補えることが多い。「昇っ
 て(は)／きた」(3)「楽しく(は)／なかった」(5) 7「兄が／書いた」と言い換え
 られるので、主語・述語の関係と分かる。

- 2 連文節の文の成分も、述部→主部→独立部→接続部→修飾部の順に押さえていくとよい。

文法(1)

I 言葉の単位

- 1 文章 文が集まって、大きな主題を表したもの。
- 2 散文 ① 説明的文章(論説文・説明文) ② 文学的文章(随筆・小説)
- 2 韻文 詩・短歌・俳句
- 2 段落 長い文章の中の、内容によるひとまとまり。
- 1 形式段落 作者が書きながらまとめた段落。書き出しは一字下げる。
- 2 意味段落 読者が読みながらまとめていく段落。
- 3 文 ひとまとまりの考えや事柄を表した、ひと続きの言葉。

4

文節 文を意味のこわれない程度に小さく区切ったもの。

1 文節の関係

① 主語・述語の関係

ア 何が どうする。

イ 何が どんなんだ。

ウ 何が 何だ。

エ 何が ある(ない)。

② 修飾・被修飾の関係

例 美しい 鳥が 鳴く。(連体修飾) 鳥が 美しく 鳴く。(連用修飾)

③ 並立の関係 例 兄と 姉は 外出した。

④ 補助の関係 例 父は 外出して いる。

⑤ 接続語 例 寒かったので、コートを 着た。

⑥ 独立語 例 ああ、みごとな 景色だ。

2 連文節 二つ以上の文節がまとまって一つの文の成分としてはたらくもの。

※「並立」と「補助」の関係にある文節は必ず連文節となる。

3 文の成分 連文節の場合はく部と呼ぶ。

① 主語(部) ② 述語(部) ③ 修飾語(部)

④ 接続語(部) ⑤ 独立語(部)

5

単語 言葉の最小単位。

1 自立語

2 付属語